

先日、息子が幼稚園で御岳山に行

も足りないと思います。

ん。困難にあいたくないけども、あつて

きました。そこで友達に「お守りを買  
ったほうがいいよ。守ってくれるから」  
と言われたそうです。

本来、仏教の教えとお守りは全く  
関係ありません。むしろ、「お守り」の  
発想に疑問を持っているのが仏教の  
教えです。

しまったら、それをなくすのではなく、  
乗り越える道を求めましようというの  
が仏の教えです。

「お守りが守ってくれる」という発  
想はとても子供らしく、かわいいなあ  
と思しながら聞いていましたが、この  
発想は子供だけでしょうか。

お守りを持っていても持っていない  
でも、災難に会う縁があればあつてし

健康・金運・縁結び・学業、安全な  
道を願うお守りはたくさんあります。  
自分の思いを人知を超えたはたらき  
によってかなえてもらいたいとい気  
持ちはわかります。でもそれは仏

大人だったら、せいぜい、「持って

## お守りは効くのか

を利用しようとする思いではないでし

ないより持っているほうが安心できる」

できます。もし、災難を避けることが

位の方がほとんどではないでしょうか。

できた時は、お守りのおかげではなく、

考え方によっては、数百円・数千円で

災難に会う縁がたまたまなかったから

守ってもらおうと思っれていることのほ

である。というのが仏教の教えです。

うが虫がよすぎると思いませんか？

誰だつて困難にあいたくはありませ

本気で守ってほしければ、ゼロがいくつ

とするはたらきが仏なのです。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●